

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

茨城県

学校名

八千代町立八千代第一中学校

人権課題

子供

対象学年・
取り扱った教科等

全学年・学級活動

目標・人権教育のねらい

- ・本年度の組織目標である「人権尊重を基盤に生徒が自分のよさを発揮し、誇りをもつことができる居心地のよい学級・学校づくりを推進する。」の具体的手立ての一つとして、学級の「人権スローガン」を掲げ、日々の生活で人権を意識しながら生活できるようにする。
- ・「人権スローガン」の作成を進める中で、身近な人権問題について知るとともに、人権に配慮された学級の到達すべき姿を共有し、人権意識の高揚を図る。

実施した内容

学級の「人権スローガン」作成（3時間）

- ・学級活動で「人権」についての理解を図る。
- ・身近な人権問題について具体的例を挙げて話し合い、自分の対応すべき行動を考える。
- ・人権に配慮した学級の到達すべき姿を想起して、学級の「人権スローガン」を考える。
- ・「人権スローガン」を教室前方に掲示し、常に目にして継続して取り組めるようにする。

工夫した点

- ・教師の事前準備として、茨城県教育委員会の「みんなえがお」人権教育指導資料4 2集や本校の人権教育全体計画、本校の組織目標、学年・学級経営目標の確認および生徒が記入した1学期の目標における「思いやる心」の記述内容を把握する。
- ・学級の到達すべき姿については、誰もが具体的にイメージでき、努力の度合いや達成状況を評価できるものとする。
- ・各学級の「人権スローガン」はネット配信による生徒集会で発表する。

他教科との
関連

全学年とも、特別の教科 道徳 **B-(6)** 思いやり、感謝および **B-(9)** 相互理解、寛容の学習と関連させながら学級の「人権スローガン」作成を進めた。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

茨城県

学校名

八千代町立八千代第一中学校

人権課題

障害者

対象学年・
取り扱った教科等

全学年・学級活動

目標・人権教育のねらい

- ・キャリア教育の一環として、普段見聞きする機会の少ないパラアスリートのお話を聞き、交流を通して現在の自分を見つめ、自分の将来について考えようとする意識を高める。
- ・パラスポーツへの理解を深めるとともに、障害の有無に関わらず、人間の多様性に対して肯定的な捉え方をしようとする態度を育てる。

実施した内容

- ・パラスポーツについての調べ学習を通して、障害者への理解を深める。（1時間）
- ・パラアスリートの堀江航選手を招いて講演会を実施する。（1時間）
- ・スポーツ用車椅子を用いたバスケットボール体験を通して、パラスポーツへの理解を深める。（1時間）

工夫した点

- ・全校生徒が体育館に集まることが難しいため、1・2年生の各教室には講演の様子をインターネット配信し、大型テレビで視聴できるようにする。
- ・全生徒が講演や車椅子バスケットボール体験の学びや感想を廊下に掲示することで、他の人の感じ方や考え方に触れ、人権感覚を養えるようにする。

他教科との
関連

- ・保健体育科で、障害の有無にかかわらない運動やスポーツの楽しみ方について学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

茨城県

学校名

八千代町立八千代第一中学校

人権課題

外国人

対象学年・
取り扱った教科等

中学3年生・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・SDGsの具体的な取組として、“届けよう”服のチカラプロジェクトに参加し、自分たちにもできる社会貢献活動について理解するとともに、今後の生徒自身のSDGsへの実践意欲を高める。
- ・服のリユース・リサイクルをして、世界中の難民の子どもたちに支援物資を届ける活動を通して、自分たちにできる社会貢献活動について理解し、実践する。

実施した内容

- ・講師から、企業の活動に対する理念やプロジェクトの内容の講演を聞き、SDGsについて理解を深める。（1時間）
- ・学年委員が中心となり、子ども服の回収を全校生徒に呼びかける。
- ・子ども服を回収し、ボランティア団体に送る活動を展開する。

工夫した点

- ・保護者にも協力依頼や回収する上での注意事項を伝えることで、回収率の向上および子ども服の状態維持に努める。
- ・プロジェクト側から贈られた感謝状とレポートを読み、一連の活動を振り返るようにする。

他教科との
関連

- ・社会科の公民において、SDGsおよび多文化共生社会について学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

茨城県

学校名

八千代町立八千代第一中学校

人権課題

インターネットによる人権侵害

対象学年・
取り扱った教科等

全学年・学級活動

目標・人権教育のねらい

- ・インターネット上のモラルについて学習し、マナーを守って使うことができる態度やスキルを習得する。
- ・インターネット上でのいじめや誹謗中傷について、生徒が問題について主体的に話し合い、問題解決していくことや、インターネットの使用に関するルールづくりをすることで、これからの生活に生かしていこうとする意欲・態度を養う。

実施した内容

- ・e-ネットキャラバンによるビデオ講座を視聴する。(1時間)
- ・様々な通信機器(スマホ・ケータイ・タブレット・ゲーム機・音楽プレイヤー等)で起こりうる危険性について話し合う。
- ・通信機器を使用する際のルールを考え、発表し合う。(1時間)

工夫した点

- ・スクールカウンセラーを講師とした「SOSの出し方」に関する学習から、信頼できる友達や大人にSOSを出す方法等を学び、悩んだときの相談の仕方を身に付け、励まし合い、認め合う人間関係づくりについて学習する。
- ・スマホ・ゲーム機「マイルール」プリントを配付し、家庭でルール決めをしてもらうことでインターネットによる人権侵害未然防止を図る。

他教科との
関連

- ・全学年とも技術・家庭科(技術分野)において、インターネット利用の実態調査に基づいた情報モラルについて学習した。